

●平12建告第1455号及び上田市建築基準法施行細則第9条・別表に規定する垂直積雪量

$$\text{垂直積雪量}d = \alpha \cdot a_l \cdot c + \beta \cdot r_s + \gamma$$

地域(H18.3月合併前)	α	a_l (標高)	c	β	r_s	γ
合併前の上田市の区域	0.0005	456(上田地域自治センター)	1.66	6.26	0	0.12
合併前の丸子町の区域		530(丸子地域自治センター)	1.50			
合併前の真田町の区域		680(真田地域自治センター)	2.00			
合併前の武石村の区域		639(武石地域自治センター)	1.20			

※合併前、合併後の住所表示について

<http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/sys/20091029134913714.html>

d:垂直積雪量(小数点以下第2位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。)(単位 メートル)

α 、 β 及び γ :多雪区域を指定する基準及び垂直積雪量を定める基準を定める件(平成12年建設省告示第1455号)別表に定める区域に応じて同表の当該各欄に掲げる数値

a_l :建築物の敷地の標高(当該建築物と市役所との標高差が50メートル以内の区域にあつては、市役所の標高とする。)(単位 メートル)

c :区域に応じた数値(上田市建築基準法施行細則第9条・別表)

r_s :区域の標準的な海率(上田市建築基準法施行細則第9条・別表)

上田市役所(上田市大手一丁目) 計算例 : $0.0005 \times 456 \times 1.66 + 6.26 \times 0 + 0.12 = 0.49848 \text{ m} \approx 50 \text{ cm}$

※ただし、旧上田市役所との標高差が50m以内の区域にはあつては市役所の標高とする。(標高406~506)

上田市垂直積雪量算定式

※薄緑色部分に入力してください。

地 域	上田
標高(m)	456
垂直積雪量(m)	0.5
積雪単位重量1cm毎	20N/m ²

← 選択 平成18年3月合併前の市町村の区域を選択してください。

← 入力 対象地の標高を入力してください。

$$d = \alpha \times a_l \times c + \beta \times r_s + \gamma \quad (\text{標高差のただし書き適用あり})$$

$$= 0.0005 \times 456 \times 1.66 + 6.26 \times 0 + 0.12 = 0.49848$$

$$\approx 0.5$$

※資料参照

市役所標高(位置・海拔)456m <http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/sys/20091103000000002.html>

上田市建築基準法施行細則 第9条 http://www.city.ueda.nagano.jp/pc/reiki/reiki_int/reiki_honbun/r360RG00000572.html